平成24年度子どもゆめ基金助成事業

きみの夢ってなあに？

匠からの未来メッセージ

企　画　書

公益財団法人 日本進路指導協会

はじめに

当進路指導協会では、全国各地で講演会や指導者セミナー等々に精力的に取り組んでいますが、指導者を通じてばかりでなく、子どもや保護者からの直接の電話等での相談を随時受け付けております。
このWeb教材の必要性はその中で平成２４年度に発案、作成されたものです。
教材の対象者として、小学校高学年を予定しています。
進路指導、職業指導というと、小学校高学年よりもっと年齢が高いものと考えられがちですが、小学校段階から感覚やマインドを育ててあげることが大切なことです。

この教材の一般公開に合わせ、子ども相談窓口を開設し、教材利用者のサポートを行い、利用者の目線に合った普及活動を目指します。
また、体験学習・体験活動ですが、子どもたちが実際に足を運んで見聞きしたり、取材する活動が行える「場」の提供を予定しております。
この教材で特別に、伝統工芸や中小企業への道を啓蒙するわけではありません。町の小さな工場が世界でオンリーワンの製品を生み出していることや最先端技術が必要とされる宇宙ロケットの重要なパーツを作っていることを伝え、日本人のDNAが持つチカラを教える機会を持ちたいと思います。
そして、将来、大企業へ就職した場合でも、自分がやりたいことは何なのかを考え自分で探る力、自分の価値観や意思（意志）を子ども時代に身につけることの助けになればと考えております。

このたび、より効果を得るため、修正および加筆することといたしました。
※なお、現在は、修正期間中のため、一部のみ閲覧することが出来ます。

URL　http://takumi-message.info/

今回ご協力いただきたいこととしまして、「匠からの未来メッセージ」コーナーの取材、インタビュー出演です。
未来を創る子どもたちのため、ご協力くださいますことを切にお願い申し上げます。

参考ページ　http://takumi-message.info/takumi02.html

1.Web教材の概要

①匠（たくみ）からの未来メッセージ
・子どもたちの素朴な疑問を想定して、匠たちに答えてもらいます（映像）。
どうしてこの職業についたのか？幸せなの？どうしたら、匠になれるのか？一番つらかったものは？一番楽しかったことは？など

③匠への道しるべ（適性チェック）
・遊びの要素を入れた適性チェックです。2択の選択肢の他に、途中にジグソーパズル、クイズを設置し、日本の技術や文化を知ることができます。

④匠からの未来メッセージ
・匠たちから子どもたちに向けたのメッセージ映像が再生されます。

⑤まちの匠
・インタビューをしてみよう！
取材の方法、取材シートで子どもたちが人から話を聞く方法を学びます。
・日本の小さいけどすごい会社マップ
日本にある中小企業だけど、世界的な技術やシェアをもつ会社を地図上にマッピングして、その会社の技術をやさしく説明します。
・地域の伝統工芸品を調べてみよう！
自分の住む地域の伝統工芸品の調べ方を学びます。地域別の一覧表を掲載。

⑥相談窓口
・子どもたちが将来なりたいものを登録する掲示板を設置します。
この掲示板には、当団体が開設する教材利用者のための子ども相談窓口と連動し、運営されます。

教材主幹：公益財団法人　日本進路指導協会
〒101－ 0054 東京都千代田区神田錦町 1-8-1 親和ビル 2 階

当協会は，昭和２年、青少年の職業指導を普及・発達させることを目的に、文部省の後援のもとに「大日本職業指導協会」として創設され、事務所を文部省構内に置き、初代会長に元文部次官赤司鷹一郎、理事長に東京文理科大学教授田中寛一博士を選任して発足したのが始まりである。
その後その重要性にかんがみ、昭和７年改めて文部省（現在の文部科学省），内務省（現在の厚生労働省）共管の「財団法人」として整備された。戦後名称を「日本職業指導協会」と改め、さらに昭和 54 年５月から「日本進路指導協会」に改称して今日に至っている。

創立以来、当協会は、職業指導にかかわる各種の研究会、講習会、協議会などの開催のほか、機関誌の刊行、小学校・中学校用「職業指導読本」の発行などを通じて、学校における児童・生徒の望ましい職業指導の在り方の普及とその発達に努めてきた。戦後，新学制となってからは，青少年の個性尊重の理念に基づいて，新しい時代に即応した職業指導（進路指導）の振興とその充実・発展に努めてきた。幸い文部科学省を始め，関係者の努力により、中等教育における職業指導（進路指導）の重要性が認識され、中学校・高等学校の職業指導（進路指導）が教育課程の上に明確に位置付けられるとともに，これらの学校における進路指導の推進役としての職業指導主事（進路指導主事）が制度化されるなど大きな成果を見るに至った。

学校における進度指導は、生徒の自主・自立の精神を養うとともに、一人一人の個性の自覚と伸長を促し、主体的な進路選択能力の育成を図るための重要な教育活動である。この進路指導の考えはキャリア教育の理念「一人一人の社会的･職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」の中核をなすものである。当協会は、そのような基本的な考え方に立ち、進路指導・キャリア教育の普及・発展を通じて、生徒の将来の社会生活における望ましい自己実現に資するとともに、その家庭や社会の要請にも応えることを目的として多方面にわたって積極的な活動を続けてきた。

２．取材ご依頼内容

①作業、工程等の取材、映像収録

②子どもたちから匠への素朴な質問インタビューとメッセージ（映像出演）

・どんなお仕事ですか？
・どうしてこの職業についたのですか？ 何がきっかけですか？
・ここまでの道のりを簡単に聞かせてください。
・この仕事は楽しいですか？
・一番楽しかったこと、一番つらかったことはどんなことですか？
・どうしたら、匠なれますか？
・将来はどんなことをしてみたいですか？　これからの夢はどんなことですか？
・匠から子どもたちに向けてのメッセージ
　仕事を通して子どもたちに伝えこと。
　匠から子どもたちへのメッセージ。
・その他
　どうやって作品や商品を考えるのですか？
　いまの目標は何ですか？
　扱っている商品はどういうものですか？